

R-18

成人向け

ム

ゲ

ン

の

シ

ル

ヴ

イ







ただいま〜

あつ！ご主人様！
おかえりなさいませ！

このあと夕食に
なさいますか？
それとも…

もじ

もじ



そうだな…
今日は

がじ

はた

はた



シルヴァイから
もらおうかなっ！

ムムム

ははは

ムムム

そんなっ!!
いきなりっ!!



ムムム

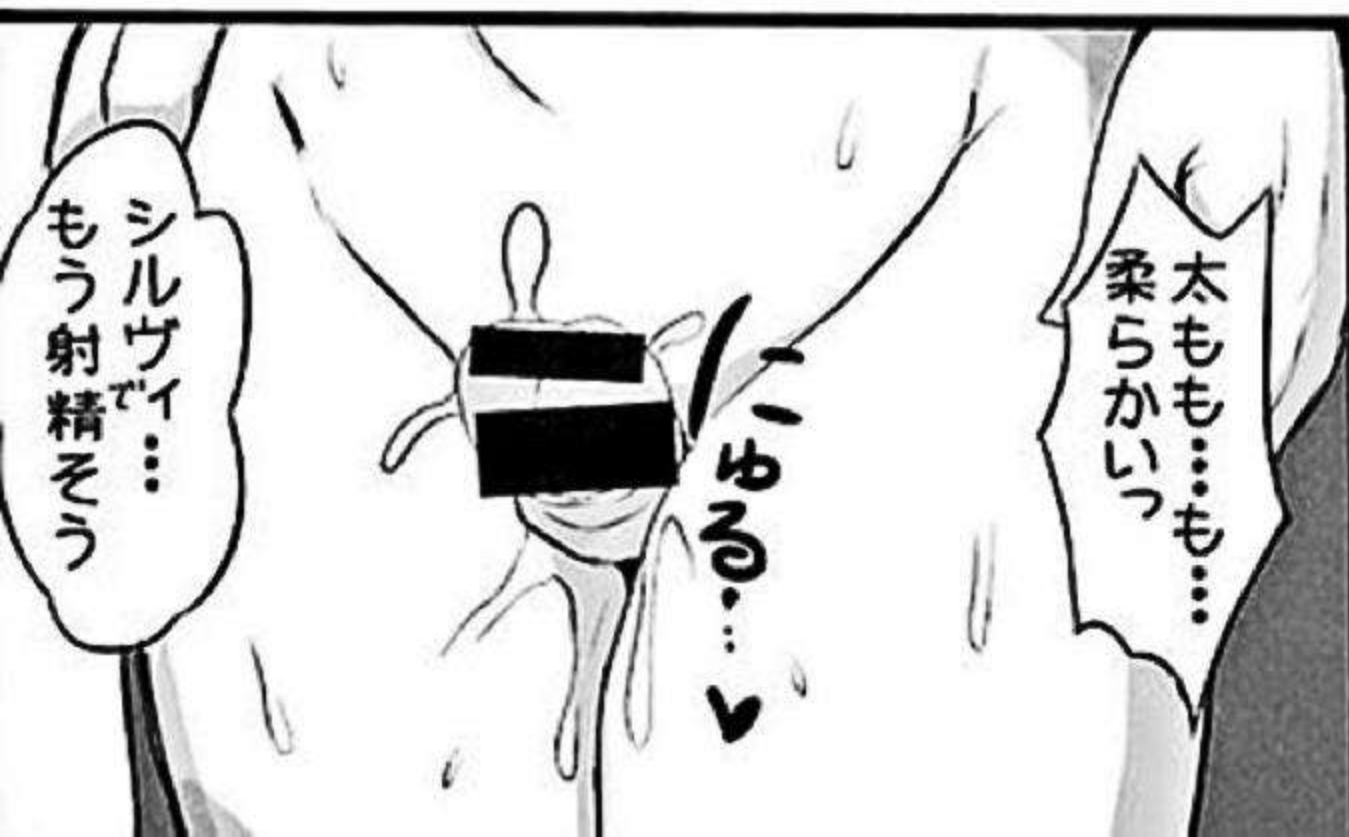
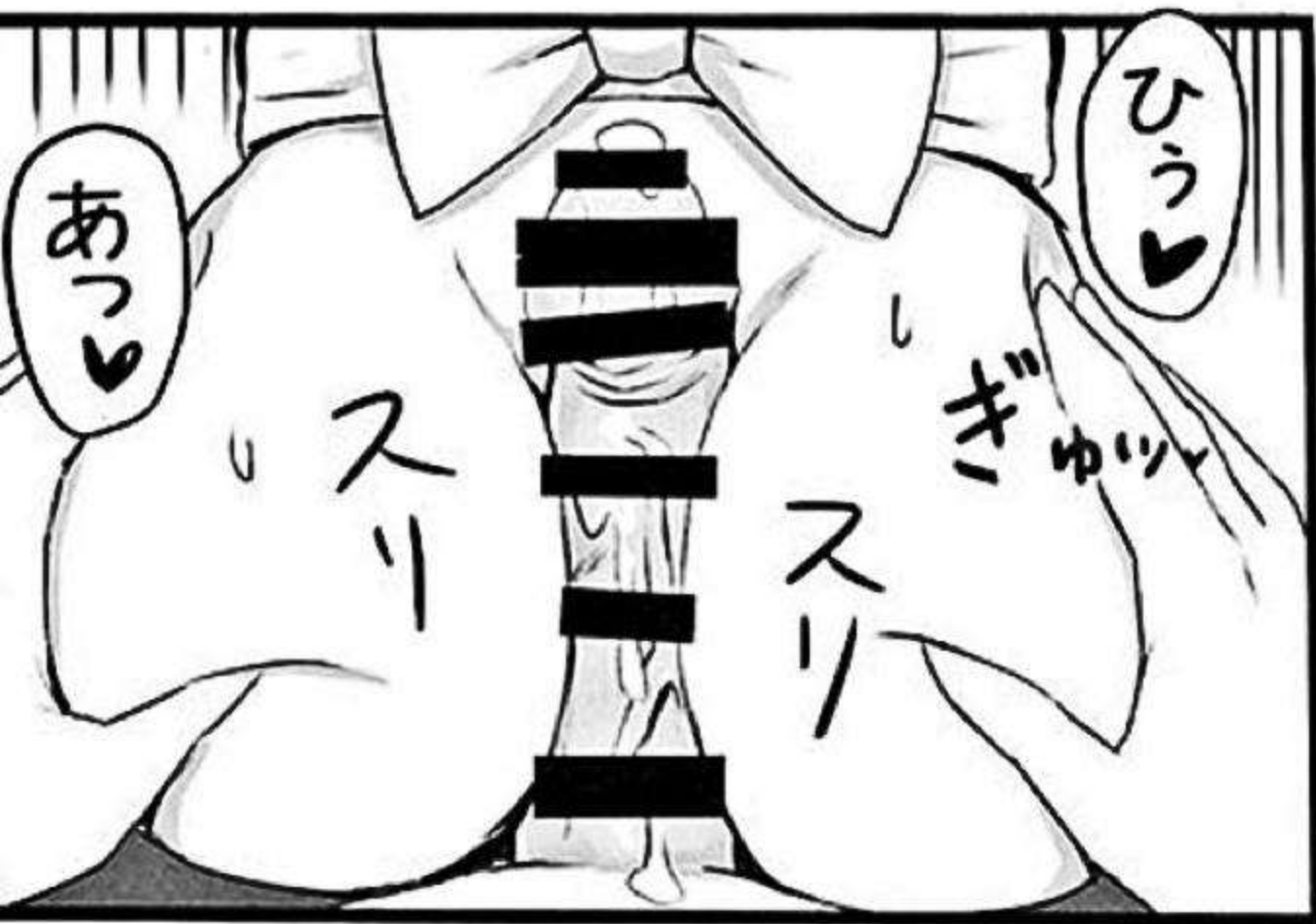
スィ



ご主人様のが…
当たってる…っ!!

ムムム

ムク





ご主人様のが...
はあ...はあ...

はー

ああッ...

シルサイ
...ジュン...



挿入れてもいいか?
自分が下で
シルサイ上ね

はい
ジュン

ピクッ

キーン

キーン



ご主人様あ...

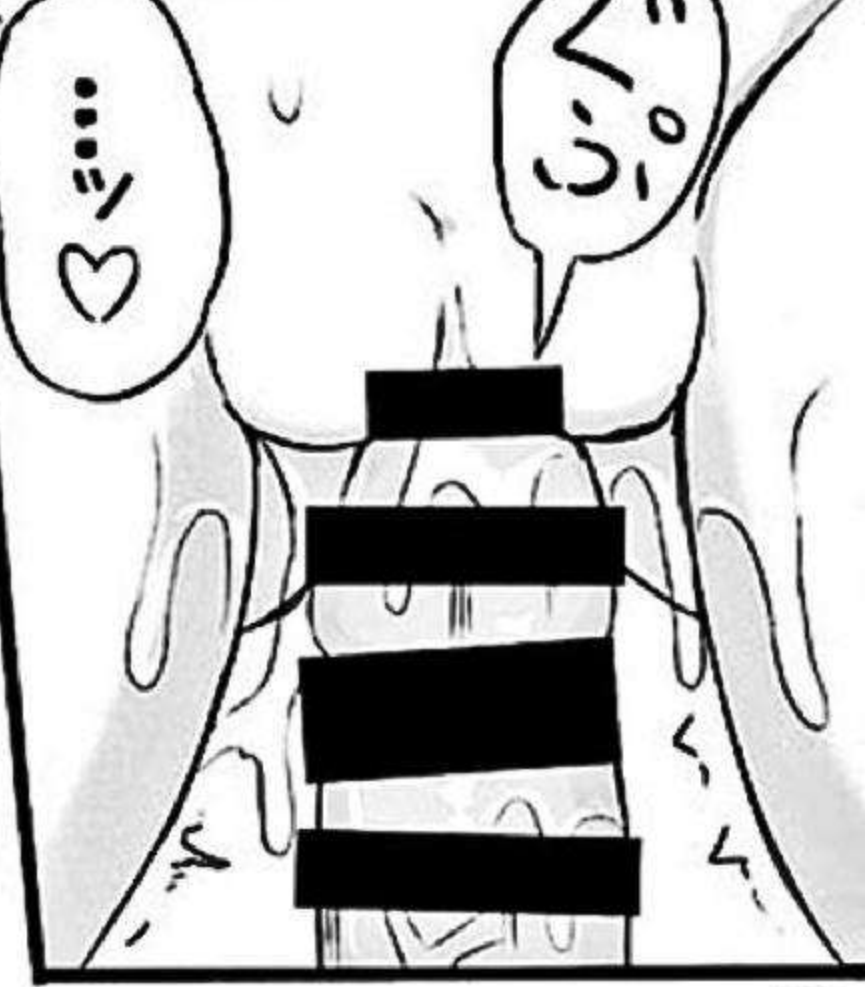
ご主人様っ♡

あふッ♡

まじ

シルサイの...

ぬちゃ



ジュン♡

ジュン♡

んんんん♡

ズッ

あッ♡



横になつてくれ…
シルヴェイ



んううう

気持ち…
い…い…い…

ズ…
ズ…
ズ…
ズ…



ご主人様…
早く続きを…

もっ…
もっ…

ハハハ
ハハハ
ハハハ





先生

今日も遅くまで
お仕事ですか?

ごめんなシルヴィ



ん...

...ふ

ん

ん...

...いえ!
お仕事頑張ってください!

何か下半身に
違和感が...

ぼやあ〜



!!

ちやっちやっ

30

30



シルヴィイ!?

おはようございます...

あ

先生...



あ、おはよう...

じゃなくて!

ナニをやったんだ!?



あの

えっと...

最近...先生と...
してなくて...

あつ あつ

ごめんなさい!!

シルヴィ...

カママ...

あ

あつ

せんせつ...



ん

おろ...

先生...

シルヴィー...
ごめんな

最近まったく
構ってやれてなかったな...

そんな!

お仕事ですし
仕方ありません



ん…
久しぶりだからかな…
少しキツイ……

先生

は、
はやく……

はやく…
きてくださ…い…

うん、でももう少し
慣らしておいた方が…

やつ…

もう…

むりです…

早く先生と…
一緒になりたいです…っ

ふふ 3.3

アツ

…ロ

ハ

は

は

め



じゃあ…挿れるぞ…?

ちゅ

痛かったら
言ってくれ…ッ

は…い…

んっ…

はっはっ♡

はっ♡

はっ♡



アッ

ズ
ズ

…くっ
キッ…

☆
ビク
ビク

あっ

あっ



先生♡

シルヴィ…
大丈夫か…?

ッ…はい…♡

久しぶりに
先生を感じられて…♡

グチュ

せんせい♡

おっ♡

かんか…♡

すっくへ…
しあわせです…♡

グググ
グググ
グググ







む…
なんだか股間が
気持ちいいな…



おはようございます
ご主人様

なっ!?

シルヴェイ何をやって!?

逆奴隷

作画：扇



ご主人様の顔を
見ていたら…
せつなくなつて…

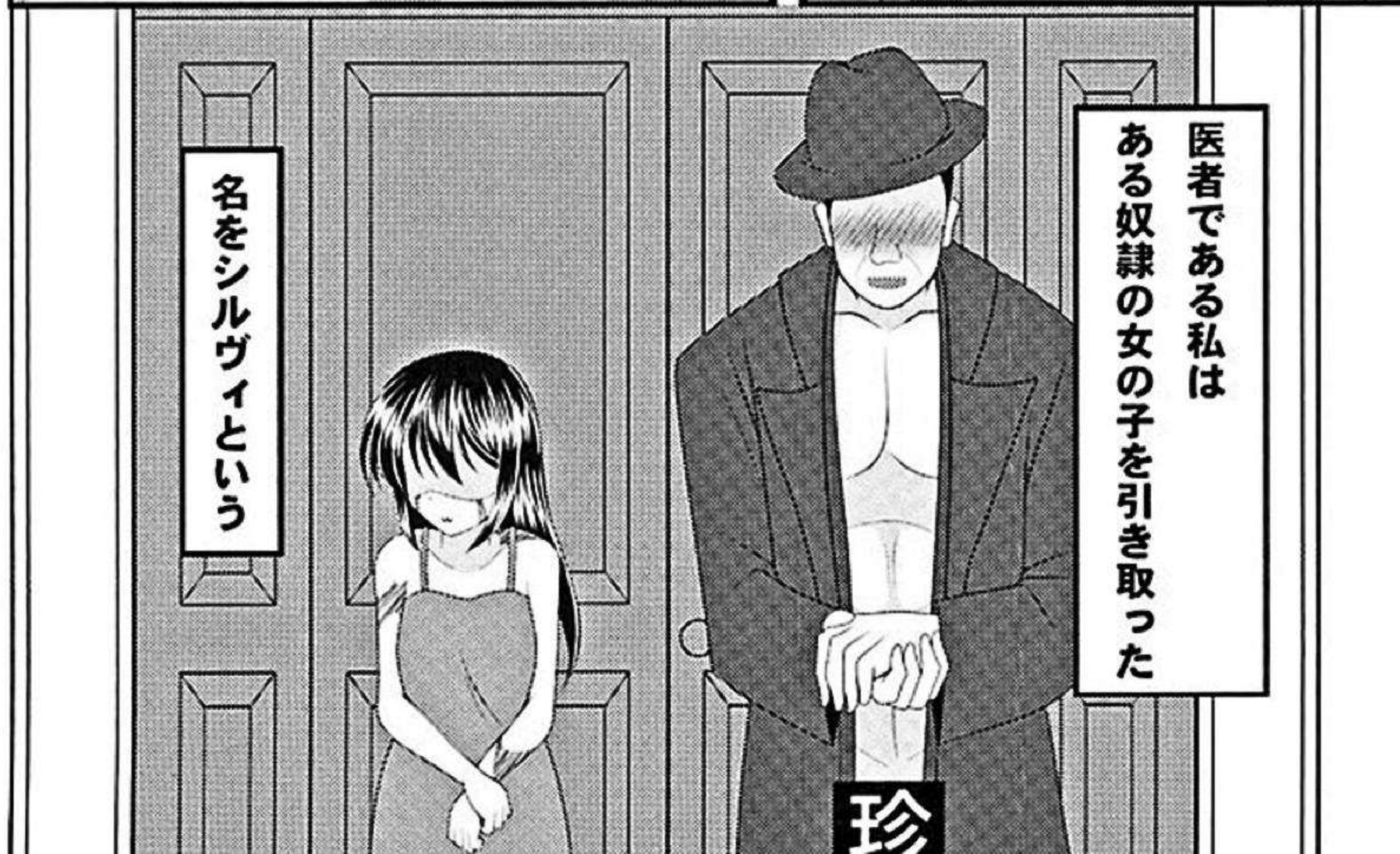
…悪い子だ…

はっ
はっ





夢精した…



名をシルヴィイという

医者である私は
ある奴隷の女の子を引き取った

珍

シルヴィは
不能だった私を
変えてくれた

彼女の頭を撫でていと…



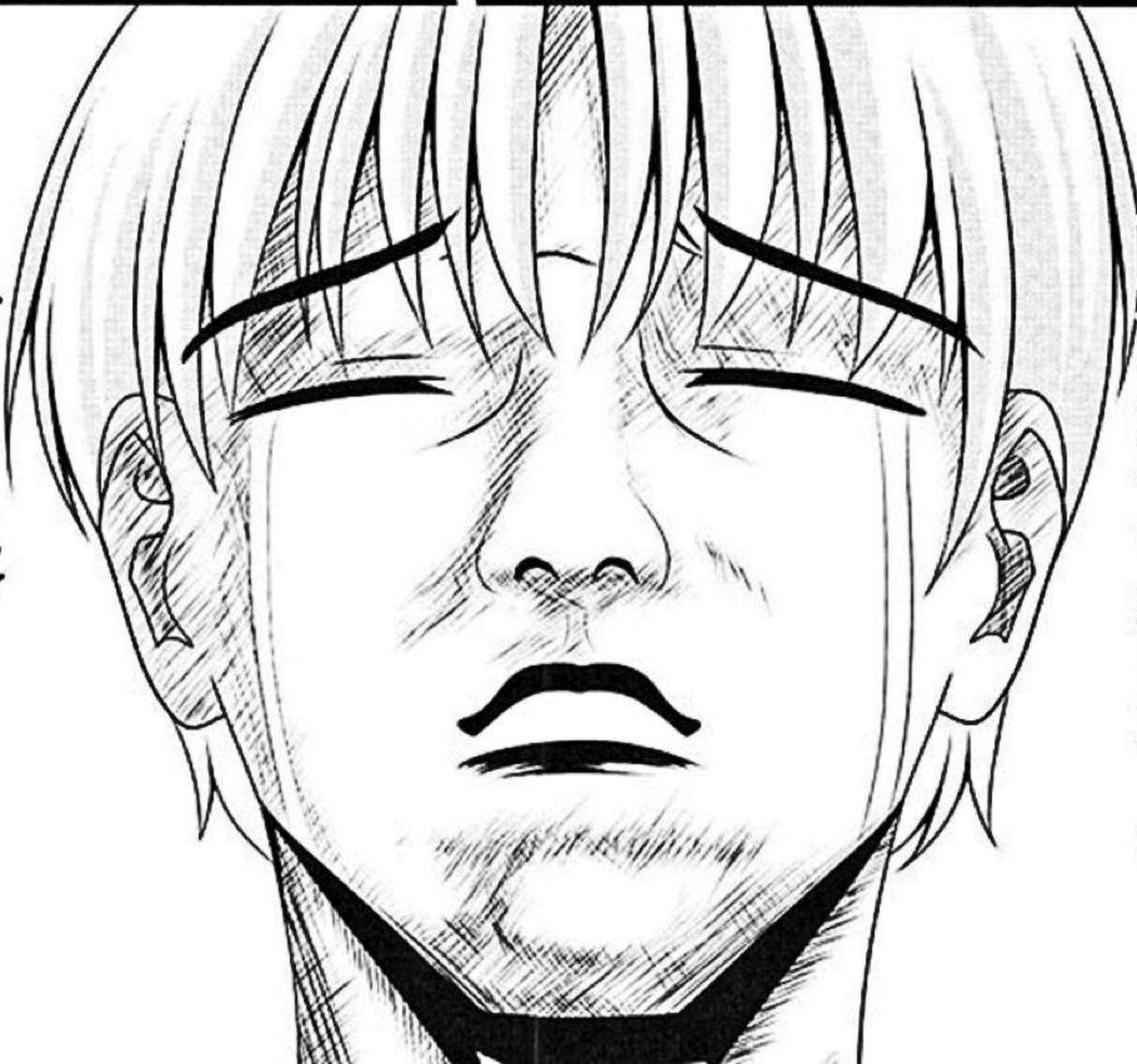
な、なんだ!?
この今まで感じたことのない
股間の疼きは…!!



それが私の初めてのの

勃起

でした





ああ、犯罪的に似合ってるよ
シルヴィー…



ご主人様どうでしょうか？
似合っていますか？



ウツ…！

ホッキガ…

ご主人様!?

シルヴィー…
君は他の誰にもない魅力がある



それが私の性欲を掻き立てるんだ。
それが時に暴走しそうで怖いんだ。

大丈夫ですよ。
ご主人様。

私はご主人様の奴隷です

なんなりとお申し付け下さい



ああシルヴィー…
君は奴隷じゃない…

普通の女の子だ…

私は君に
初めて会った時から



私が君の

奴隷

だったんだ



終



あら...

あらあら
まあまあ



Time waits for no one...³

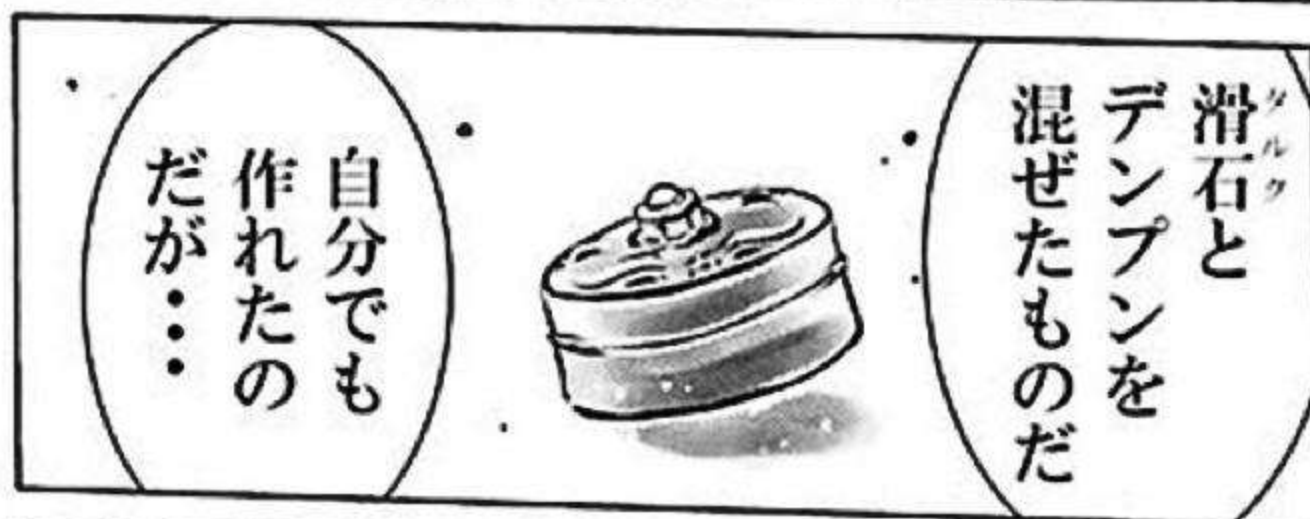
Teaching Feeling fanfic story
夜意澄携神団 御城伸座

センセ

女の子の
気持ちは
大切ですよ

お買いなさいまし

悪い事は
言いません



この娘と
生活をともにして
一ヶ月——

さて

ケーキを
買って帰ろう

わア

嬉しいです！

死んだ目は
潤いをたたえ
焼かれた肌は
引きつりを無くし

よき食事は
活気をあたえ
笑顔を取り戻した

そして——



ん...

くっ...ふ

キリ
キリ
キリ

夜の営みは
彼女の心を癒し

先生...
まだですか...

ああ
まだだ

私の気持ち
を満足させた



はア...

はっ...

先生...
先生え...

シルヴィイから
溢れるまでは
まだだ

そして
シルヴィイの全てを
知ろうとしている

ギャ...

はア...



おお...

キリ
キリ
キリ

おお...



シルヴィ

舐めなさい



ふっ…

はあ…

んううー!



あ…

ありがとうございます
ございます…!



…ふあ

先生!

も…う
ダメです

んんっ…!

よし
ちようど湯が
沸く時間だ

場所を移そう



はあ...

キョッ



今日は
よく歩いた

は...

キョッ

キョッ



先生...

気持ちいいですか？

キョッ

キョッ



おまえを
味わいたい

たまには
ゆっくり

は...

キョッ



ハイ



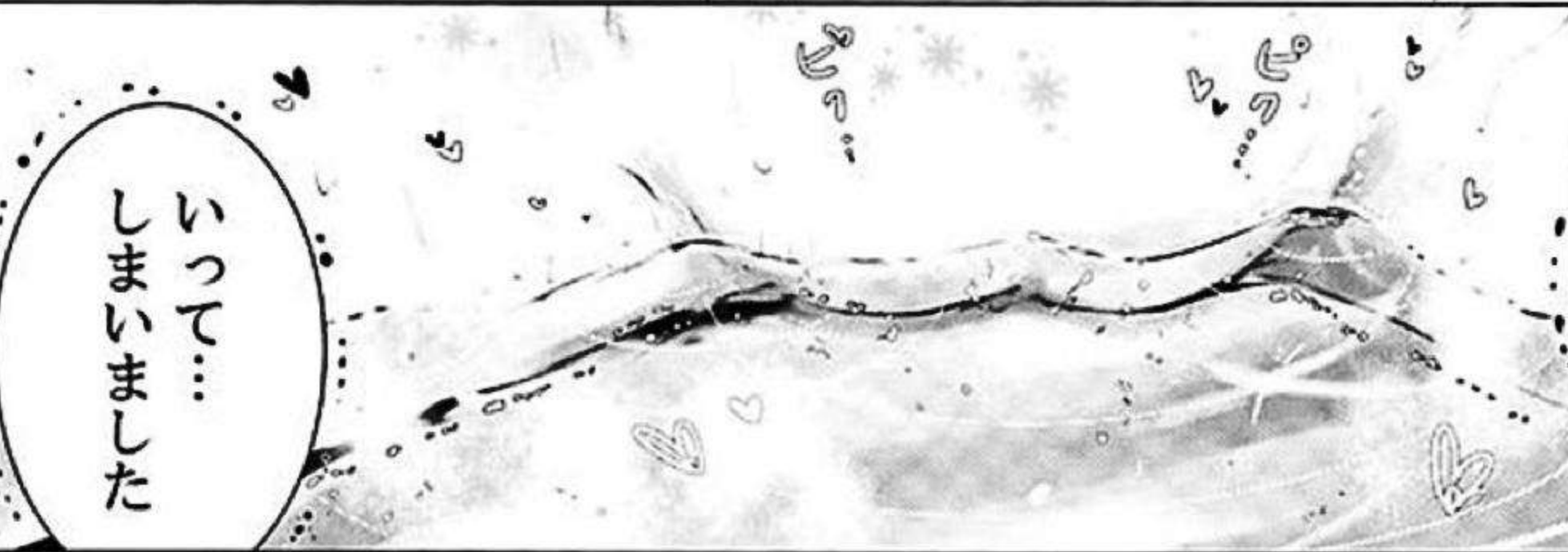
ああ



良い身体だ

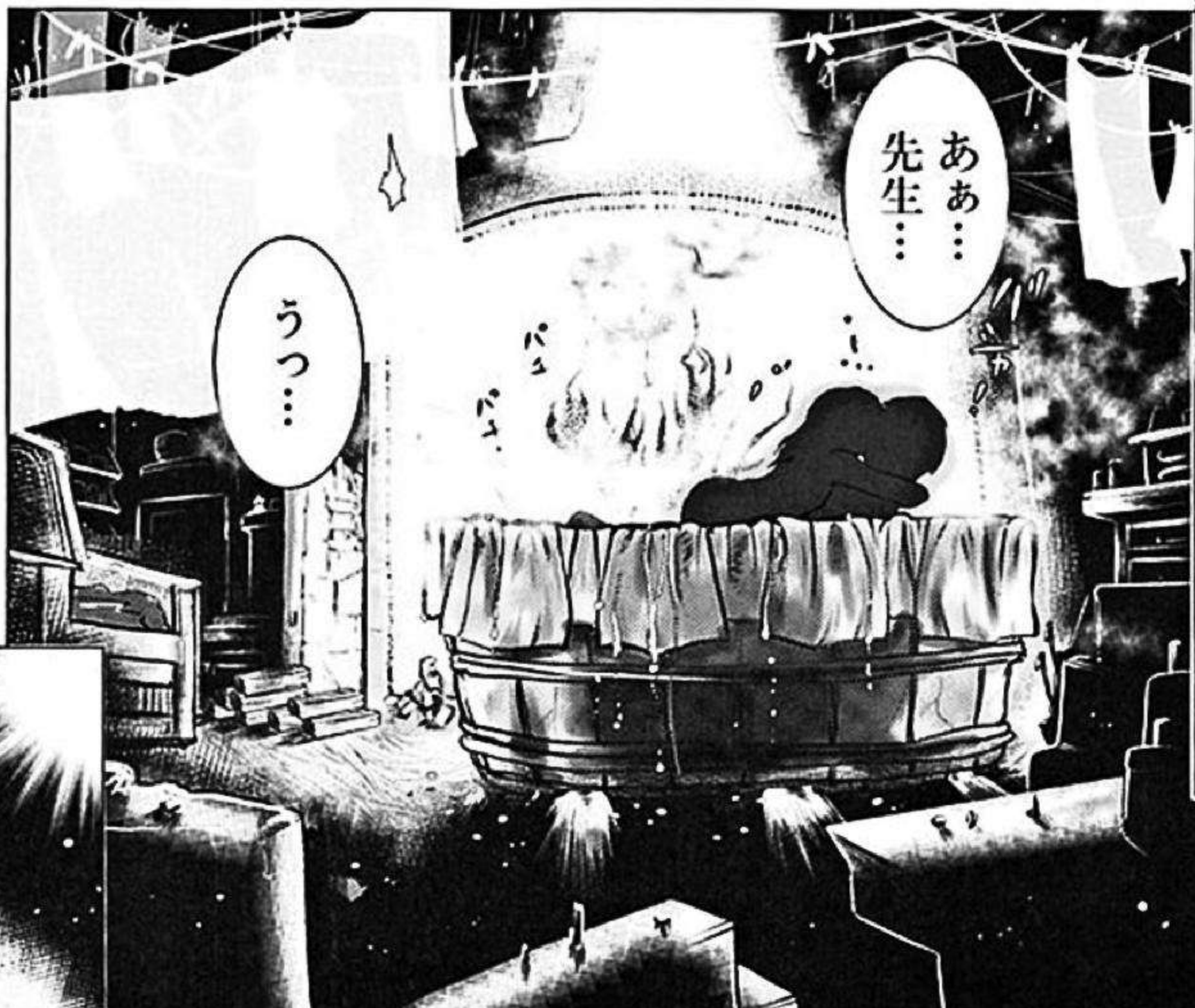


ああ…
私の全てを
包み込む…



いって…
しまいました

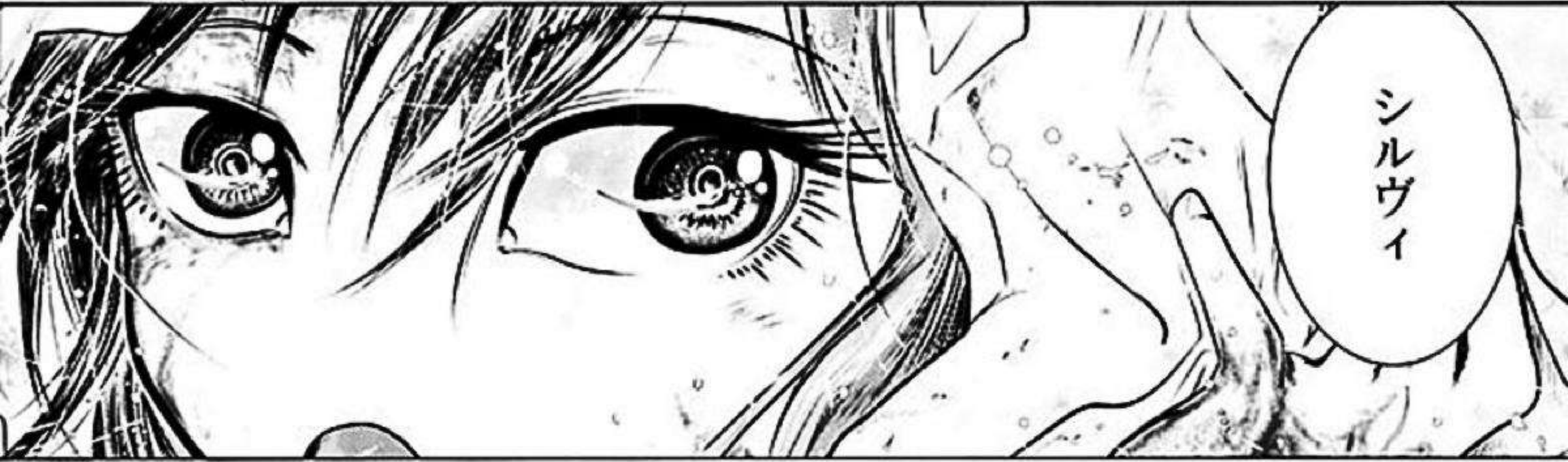
先生…
今ので少し…



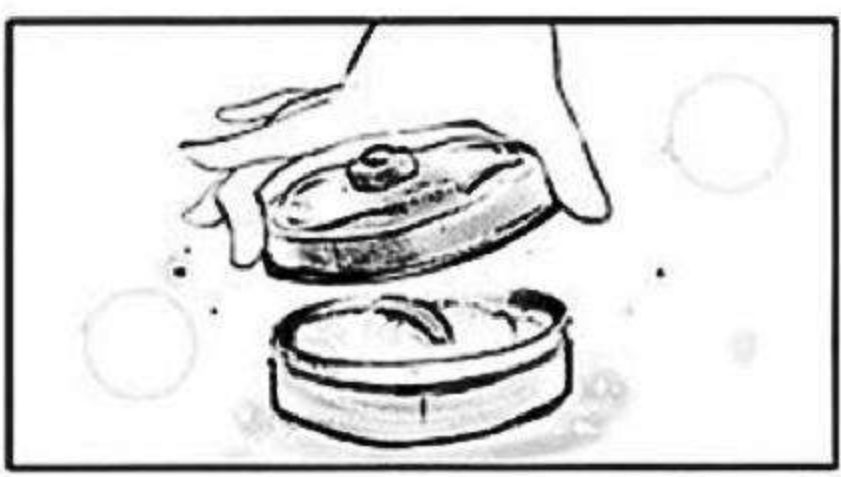
うっ…

ああ…
先生…

よし…
ではこのまま
達するとしよう



シルヴィ



わア...

いい香り...



ハイ!

！
入浴後に
はたくと
良いぞ



昼に渡した
天花粉だが



先生…

私この香り…

知っています…

傷が…

お父さんも
お母さんも
知らないのに—

いや

肌色の
天花粉か…

私が赤ちゃん
の時…

だれかが
つけてくれたん
でしようか…

ああ…



そうかもな



あらあら

まあまあ



ほらね
センセ

悪いことは
言ってなかった
でしょー



歳月は待つて
くれぬい…

いつかの時間に
繋がるよう

時に神様は
微笑むものよ




=FIN=

森で水遊び




2173.





私の名前はシルヴィイと申します
“元” 奴隷です
今は優しい先生に拾われて、
幸せな毎日を送っています

軽い風邪ですねー
お薬を飲んでゆっくり
休んでください




先生の与えてくれた
幸せは暖かく私を
包んでくれました

美味しいご飯に
綺麗な洋服
先生とのお出かけ

勿論“夜”の
行為も……

私は間違いなく
幸せものです



——ですがここ最近は一



先生がここ最近
かまってくれない、と

あらあら



ズーン

……先生は私に
飽きてしまったの
でしょうか？

そんなことはない
と思いますが……



でももう一週間も
えつちなこととしてない
どころか、
ゲームを起動して

それ以上は
いけないわ



ズーン
すればー

そうですね……



でしたら

いいのが
ございます

とある日の夜







先生は!!
私に飽きて
しまったのですか!?

外に出かけることも
全然無くなって、
夜だって最近何も
してくれません!

仕事が忙しいのは分かります
お医者様というのは大変で……

私なんて所詮
奴隷なんです!!

みんなから
頼られて……

うっ
ぐす

でも……
それでも……

やっぱりこの
傷のせいで……

あう……
ぐす……

私の身体は
汚れているから……



シルヴィ
「私ちよつと勘違いを
していたみたい

……私はあなたの事を
飽きたりなんて
思っていないわ。本当よ。

ただ……最近本当に
仕事が忙しくって……
いえ、これはただの言い訳ね……

あなたのことは大好きよ

あなたのすべてを
愛おしいと思ってるわ

もちろん、この傷も





私はあなたに笑って欲しくて、
あなたを引き取ったのだから



だから泣かないで
シルヴィ



……本当にごめんなさい

あなたの気持ち
を分かってなかったわ……



こんな私を

どうか許して

— Teaching Feeling —

シルヴィー、
準備はできたかしら

はいっ
大丈夫です！

ふふ元気ねー

久しぶりですからね！
お出かけ！

あつ
嫌味とかじゃ
ないんです先生！

うぐっ……
ごめんね……

分かってるわ
……

……シルヴィ

はい？

シルヴィーちゃんと
女先生

！



今日も同じ様に
軀を交え
互いの感情を
貪り合う

毎日…日常のように…
心の隙間を埋める為に…
セックスを繰り返す

シルヴィ…君が
本当にして欲しい事は
私に分かっているんだ

はぁ…

…様♡

…ご主人様…♡
…ご主人様…♡

ずっと…
愛してます…♡
ご主人様…♡





今日から
私の事を…

『旦那様』と
呼んでくれないか？

ご…ご主人様…？



ご…
ご主人様…？

その…なでなでは
照れてしまうので…
食事の後にでも
好きなだけ…



…ご主人様？



シルヴィ…
お願いがあるんだ



シルヴィー...

君の好きで

私...そんな行き過ぎたことは...

あ...

構わないんだ

グワッ...

キーン

キーン

シルヴィー...キミは本当はどう在りたいんだい?

...ん...

私...イジワルです分かっていて...そんな...

はあ...

私に素直に聞かせて欲しい

優しいです...目那様...

キーン

キーン

はあ...

はあ...



旦那様…
朝食…少し
遅らせても
大丈夫ですか…？

私…嬉しくて…
ここが切なくて…
旦那様が…その…
イヤじゃないなら

私のこと…
抱いてくださると…
あつ…♡



ん…♡
旦那様…私…
幸せですっ…

今日は…激しく
乱れたい…です

めちやくちやに…
私の全部を…
旦那様に…

旦那様の
モノに…♡





旦那様…旦那様…
私…ずっと
旦那様の事…
愛してますから…



シルヴィ
私は君のこれまでの
不幸を癒やして
あげられるだろうか

でも旦那様…
新しく買った服が
たくさんあったのに…

私は旦那様の
好みの服で
いいんですよ？



はじめて買った服で
外出しないかだなんて…

なんだか
懐かしいですね
旦那様

そうだな…
シルヴィと初めて
食事をしたあの店に
また行きたくてね



君のこれからの
幸福を誓って
あげられるだろうか

いや…
シルヴィは…

この服が
一番良いんだ



さあ早く行かないと
夕方になってしまいうな
少し急ごうかシルヴィ

はい
旦那様…♡

君の生きる世界に
私が不可欠なら

その美しい
君の指に永遠を
いつか誓いたい

ナース服 (冷涼期仕様)

秋になって肌寒くなったので
ご主人様が長袖のナース服を
買ってくださいました♡

シックな服で
これもいいですね!

でも…
この服を着せたまま
えっちしようとするのは
ちよっと困ります…♡



© 2003

ピンク色の
ハーブを
入れたお茶を
飲んだ日の夜は



シルヴァ...

ご主人様が
わたしを
求めてくださる
晩です

んっ...♡



ご主人様...♡



あら...♡
あついなさ...♡

今晚も一晩中
ご主人様の欲望に
全身を
むちやくちやくにされて
しまつんだ...
そう思うと...

ご主人様と
ふたりだけの
夢の時間...♡

じっくりと
楽しまないと...
もったいないと
思いませんか？



わたしの全身が
みだらな期待で
震えてきます...♡

うっ...♡

ね♡



ご主人様に
触れていただくだけで

は...ひゃああ...♡

あうっ♡

わたしのめぞうは
熱くなっし...

ひゃんっ♡

こんなに...
クリトリスを
勃起させて
おいて



あ...♡

ん...?

うっ...
うっ...
うっ...



ん...♡



は...
恥ずかし...

んっ



体の奥から
震される
感じが

あ...♡
うっ...
うっ...

あ...♡

今更
なにを
言ってる?

あ...♡



シルヴィイは
いやらしい
娘だなあ

…はさ…♡
…はさ…はさ…♡

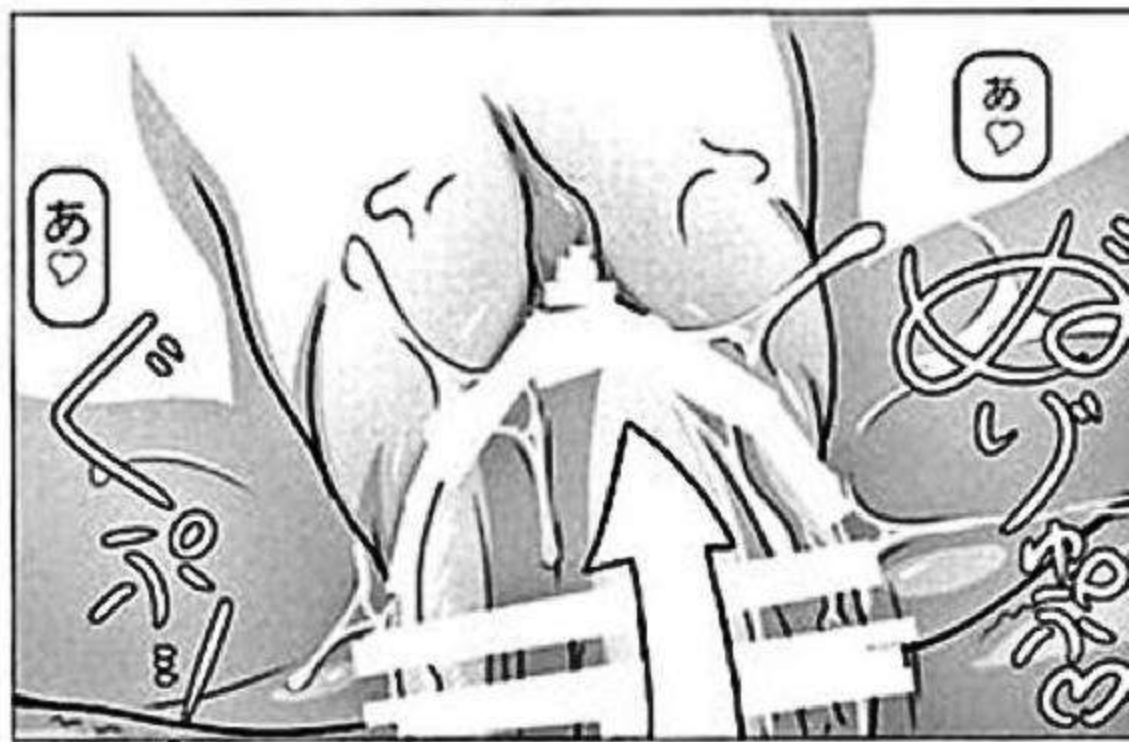
ごめん…
なさい…♡

まあ…



は…は…♡

はさ…はさ…♡



あ♡

あ♡



あ…あああ♡

俺も
そんなシルヴィイが
大好き
なんだけどね

ごめん…
シルヴィイのなかに
は…は…♡

うれしい…♡
うれしいよあ…♡

はさ…はさ…♡

はさ…はさ…♡



あ…ああ…♡

おなか…
きもち…♡

ご主人様の…♡
コツコツ…♡



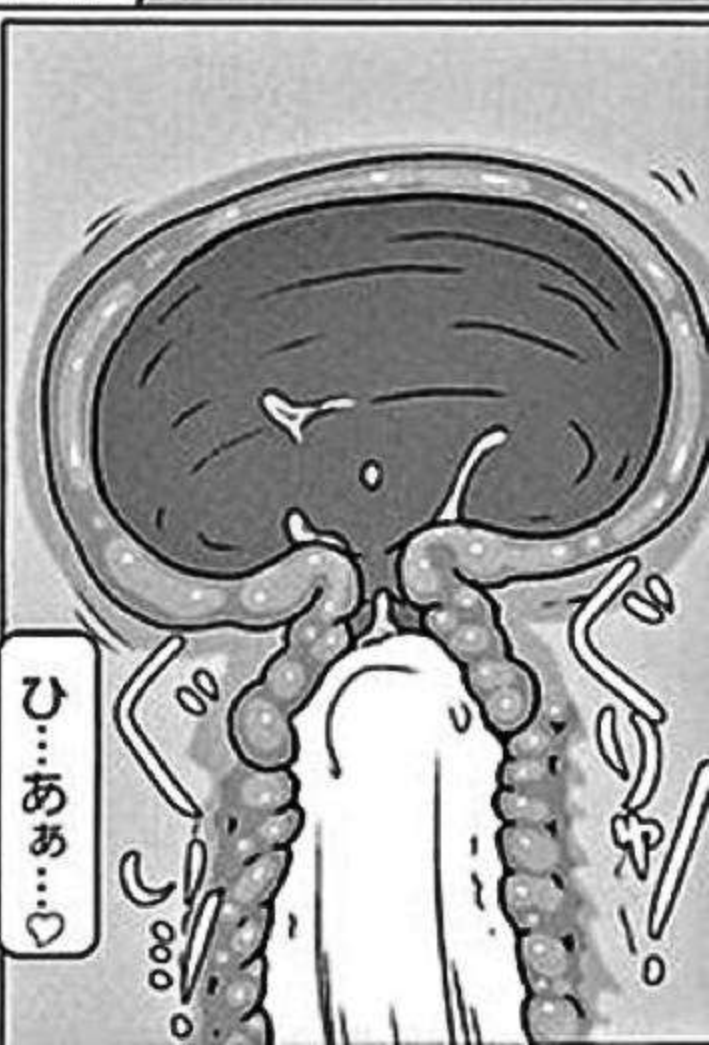
あ…♡

ご主人様の
ぬくもり…♡

おなかと背中に
かんじます…♡



ふえ…
へんになっちゃいます♡



あ…♡

あああああ♡



あ...ああっ♡

あからちゃんのおへや
ぐりぐりって
いじめてるっ♡

ご主人様のおちんちんが
わたしのおなか...♡

はひやあああ♡

おぼろおぼろ

ちぢぢ

シルヴィー...



ご主人様...
だいすき♡

あ...♡

もっ...射精すよ...

きもちいい...♡
きもちよくて
うれし...♡

♡♡♡♡♡

わたしの服...
こんなんこ...

すほすほって
はいつてる...♡

やあああん♡

シルヴィーのなか...
気持ちよくて...

ごしゅ...じん...
さまああっ...♡

おぼろおぼろ

ちぢぢ

おぼろおぼろ

ちぢぢ

あからちゃん♡
♡♡♡♡♡



せいえき...
きもちいい...♡

う...う...う...

おなかのなか...♡
いしやうが...
せいえき...♡
ひるがらね...♡

あ...あ...
は...は...
あ...あ...

♡...♡...♡...
♡...♡...♡...

♡...♡...♡...
♡...♡...♡...

♡...♡...♡...
♡...♡...♡...

...♡...♡...

♡...♡...♡...

♡...♡...♡...

♡...♡...♡...



こんなに…

お元気になるしちゃって…♡

カチカチの
熱々です…♡

シルウィの「おそじい」
うまくやれたんですね？

よかったあ…♡

そんなに
お元気に
なりましたまま…



おやすみに
なつたのでは…

おからだに
さわります…♡

わたしを…♡
ご主人様が
ご満足するまで

お相手します♡
お好きなように
あつかってください…♡

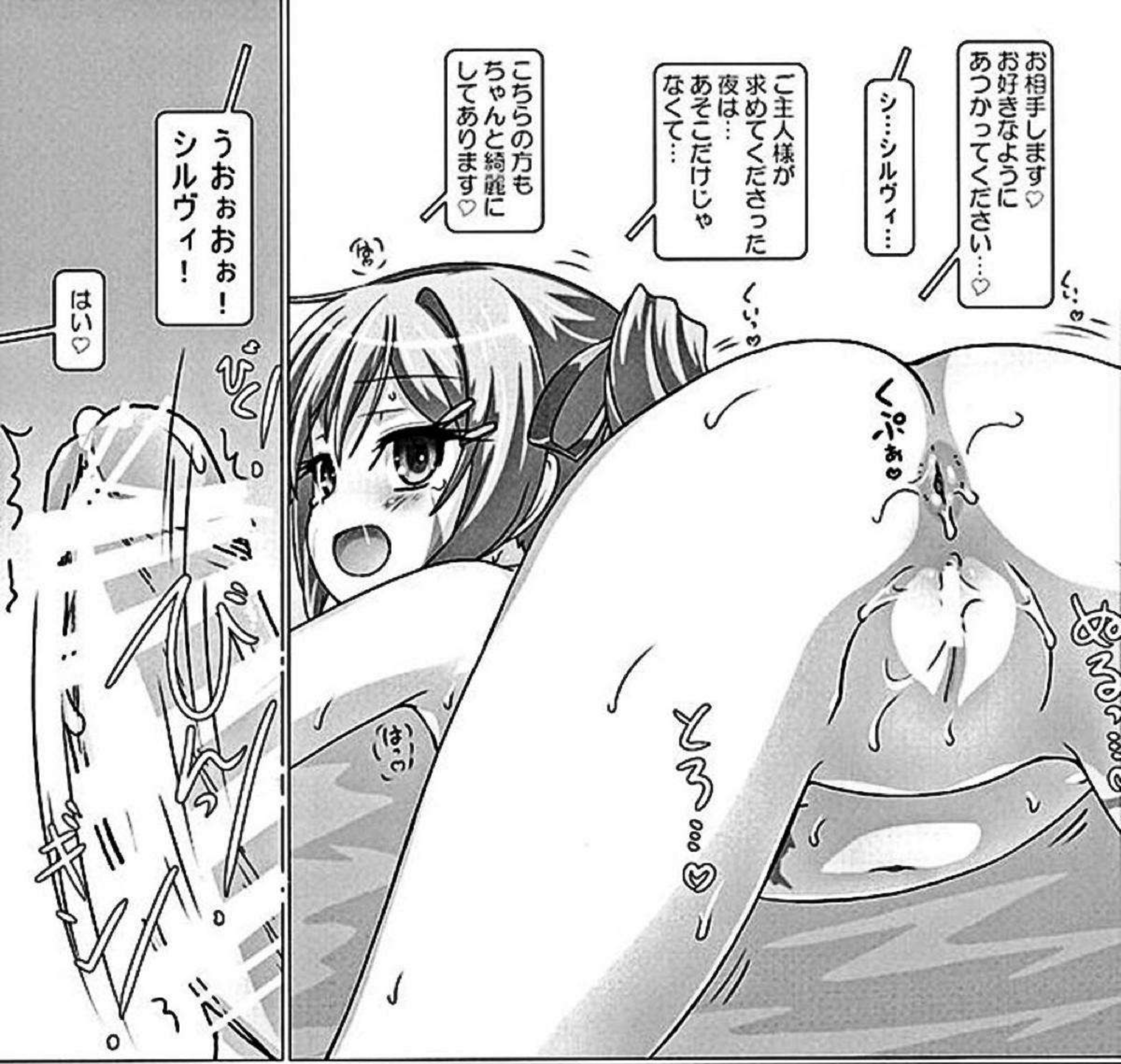
シ…シルヴィ…

ご主人様が
求めてくださった
夜は…
あそこだけじゃ
なくて…

こちらの方も
ちゃんと綺麗に
してあります♡

うおおおお！
シルヴィ！

165♡



「うおおおお」
「びびり」

165…♡



うおおおお♡
びびり♡



だ
射撃すよ…シルヴィー!

あ…♡

あ
おっ
なか…♡

あ…♡
あ…♡
あ…♡

あ…♡

あ…♡



あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡



あ…♡

お…おしりが…♡

ちゅちゅ…♡

おしりが…
ご主人様を
愛しすぎて…♡

あうう…♡

吸いじきたるへん
吸いじ…♡

♡…♡…♡

♡…♡…♡



今夜も…
よろこんで
いただけましたか…？

うれし…♡
じゅん…♡
だいすきです♡

おんおん…
じゅんじゅん…
だいすきです♡
くださね…♡

I WANT YOU
FOR MY MENTOR

